ワンページャー05 · AGENT TOKEN HUB

Token Routerを、わかりやすく。

Spartan OSでは、開発者がAIエージェントを独自のトークンを持つサービスにできます。Token Routerは、その後に起こる4つのことをつなぎます。エージェントが使われ、その利用に対して支払いが行われ、支払いが決済され、エージェントを支える人々がその分配を受けることです。

エージェント作成
開発者が

→

トークン発行
そのエージェント用に

→

Token Router
作成 · 発行 · 呼び出し · 決済

→

サービス呼び出し
アプリまたはユーザーが

→

収益の決済
エージェントの保有者へ

何を置き換えるか

キーとサブスクリプション

現在、AIサービスはサブスクリプションかAPIキーです。Spartan OSではトークンになります。エージェントを作成し、トークンを発行すれば、エージェントへのすべての呼び出しが同じレールを通じて価値を動かします。

ルーターを通るもの

役割を持つあらゆるエージェント

AIゲーム、AIツール、コンテンツ生成、DeFiエージェント、タスクエージェント、そしてAnubis Chain上のアプリケーション内から行われるサービス呼び出し。

参加者が得るもの

利用の分配

サービスを使うことから、その持ち分を保有することへの明確な道筋。エージェントの利用への参加は、約束されるのではなく、オンチェーンで記録・決済されます。



説明はSpartan OSが公表したToken Routerのお知らせにもとづきます。エージェントトークンには、あらゆるデジタル資産と同様のリスクがあります。